

碧南市の 景観行政について



<目次>

1. 国・県のこれまでの取り組み・・・・・・・・・・1
2. 碧南市のこれまでの取り組み・・・・・・・・・・2
3. 碧南市の景色資源・・・・・・・・・・3
 - (1) 碧南市の景色資源の抽出・・・・・・・・・・3
 - (2) 景色を構成する要素の整理・・・・・・・・・・4
4. 市民の景色に対する意識・・・・・・・・・・7
 - (1) 市民アンケート調査（H16）・・・・・・・・・・7
 - (2) 市政アンケート（H19）・・・・・・・・・・8
5. 現状と課題の整理・・・・・・・・・・9

1. 国・県のこれまでの取り組み

年月	主体	取り組み	内容
H15. 7	国	「美しい国づくり政策大綱」策定	美しい国づくりのための基本的考え方と国土交通省のとるべき具体的な施策についてまとめた。
H17. 6	国	「景観緑三法」の全面施行	「景観緑三法」とは全面施行された「景観法」、「景観法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」「都市緑地保全法等の一部を改正する法律」の3法の総称である。 なかでも重要なのが基本法としての性格を持つ「景観法」で我が国初の景観に関する総合的な法律である。
H18. 3	愛知県	「美しい愛知づくり基本方針」策定	国の取り組みや景観問題に対する関心の高まりなど、時代の要請に沿って、愛知県の景観形成に関する基本的な考え方をまとめた。
H18. 4	愛知県	「美しい愛知づくり条例」施行	地域の個性豊かで良好な景観を保全・整備し、新たに良好な景観を創出するなど、これまで以上に景観への取り組みを積極的に進めるために策定した。
H19. 3	愛知県	「美しい愛知づくり基本計画」策定	基本方針を踏まえるとともに、条例に基づき、美しい愛知づくりに関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るために策定した。
H20. 3	愛知県	「美しい愛知づくり景観資源」の指定	地域の良好な景観を広く募集して「美しい愛知づくり景観資源選定委員会」による選定を経て、612 箇所の景観を「美しい愛知づくり景観資源 600 選」として指定した。 碧南市は 38 資源が指定されている。
H21. 3	愛知県	愛知県公共事業景観整備指針(案)の策定	愛知県(主に建設部)を始め公共事業に携わるものが、公共事業の景観に対する影響や効果、責務を十分認識し、県民が望む良好な景観を形成するための基礎知識や指針、配慮事項を示す。

2. 碧南市のこれまでの取り組み

施策	事業	所管課	H12年度以前	H13年度	H14年度	H15年度	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度以降
文化 振興	文化財指定	文化財課	(県指定・昭和30年、市指定・昭和50年)			(国指定)		(国登録)						
	彫刻のあるまちづくり	藤井達吉現代美術館	(昭和58年～平成7年)											
	野外彫刻絵画コンテスト	藤井達吉現代美術館	(昭和63年～)											
	野外彫刻フォトコンテスト	藤井達吉現代美術館	(昭和63年～)											
	哲学たいけん村無我苑の開苑(平成4年)	文化創造課	(平成4年)											
観光 振興	元気ッス！へきなん	地域協働課	(平成10年～)											
	衣浦みなと祭り	土木課	(昭和48年～)											
	市民ふれあいフェスティバル	福祉課	(平成4年～)											
	大浜てらまちウォーキング	商工課	(平成12年～)											
	まちかどイルミネーション、きらきらウォーク	地域協働課	(平成9年～)											
緑化 振興	保存樹・保存樹林の指定	公園緑地課	(平成2年)											
市民 啓発	広報へきなん へきなんギャラリー 町並みシリーズ掲載	秘書情報課	(平成11年～)											
	都市デザイン文化賞	商工課・碧南商工会議所	(平成元年～)											
	けしきを集める活動	都市計画課						(西端地区)	(棚尾地区)	(大浜地区)	(新川地区)	(旭地区)	(中央地区)	
	へきなん市民景観ワークショップ	都市計画課												
	へきなん市民中学生景観ワークショップ	都市計画課												
	景観シンポジウム	都市計画課												
	景色づくり出前講座	都市計画課												
	碧南の景色フォトコンテスト	都市計画課												
	へきなん市民遺産	経営企画課												
公共施設 整備	景観に配慮した道路・橋梁の整備(新川橋、一ツ橋、坂上橋、塩とり橋他)	土木課・都市計画課	(平成4年～)											
	電線共同溝の整備による電線類地中化事業(中央地区)	土木課・都市計画課	(平成10年、11年)											
	哲学の小径の整備	文化創造課												
	矢作川桜づつみの整備	国土交通省・土木課	(平成8年)											
	寺町散策コースの整備	地域協働課・土木課												
	大浜警察署の外観整備	建築課												
景観 計画	市民アンケート調査	都市計画課												
	景色づくり基本計画	都市計画課												

景観行政団体へ移行・景観法に基づく景観計画の策定等

3. 碧南市の景色資源

(1) 碧南市の景色資源の抽出

本市の景色は、愛知県の「美しい愛知づくり基本計画」の基本目標の分野に沿い、河川や田園といった豊かな「自然」や、寺社や黒壁の建造物群が残る「歴史」、住みよい住環境のある「生活」、モノづくりの活気や美しい港の広がる「産業」といった4つの特性ごとに分類しました。

■自然



周囲を水に囲まれ、地形的には標高約 10m 強の碧南台地と矢作川沖積地からなる平坦地の本市は、古くは入江を形成していたが、開削により矢作川が流入するようになると、新田開発が行なわれ、伏見屋新田及び前浜新田が形成された。

本市を流れる矢作川や油ヶ淵をはじめとする河川や湖などは、地域をわけるだけでなく、景色の構成に変化をもたらす“ふちどり”として重要な景色の要素となっている。また、本市の土地利用のおよそ 30% を占める田畑のなかでも、西端地区の田園や前浜町のにんじん畑などは、“まとまり”のある景色を構成する重要な要素となっている。さらに、西端地区や旭地区などでは、みちすじに沿って連なる「緑のトンネル」や「緑のつらなり」が魅力的な景色を構成している。

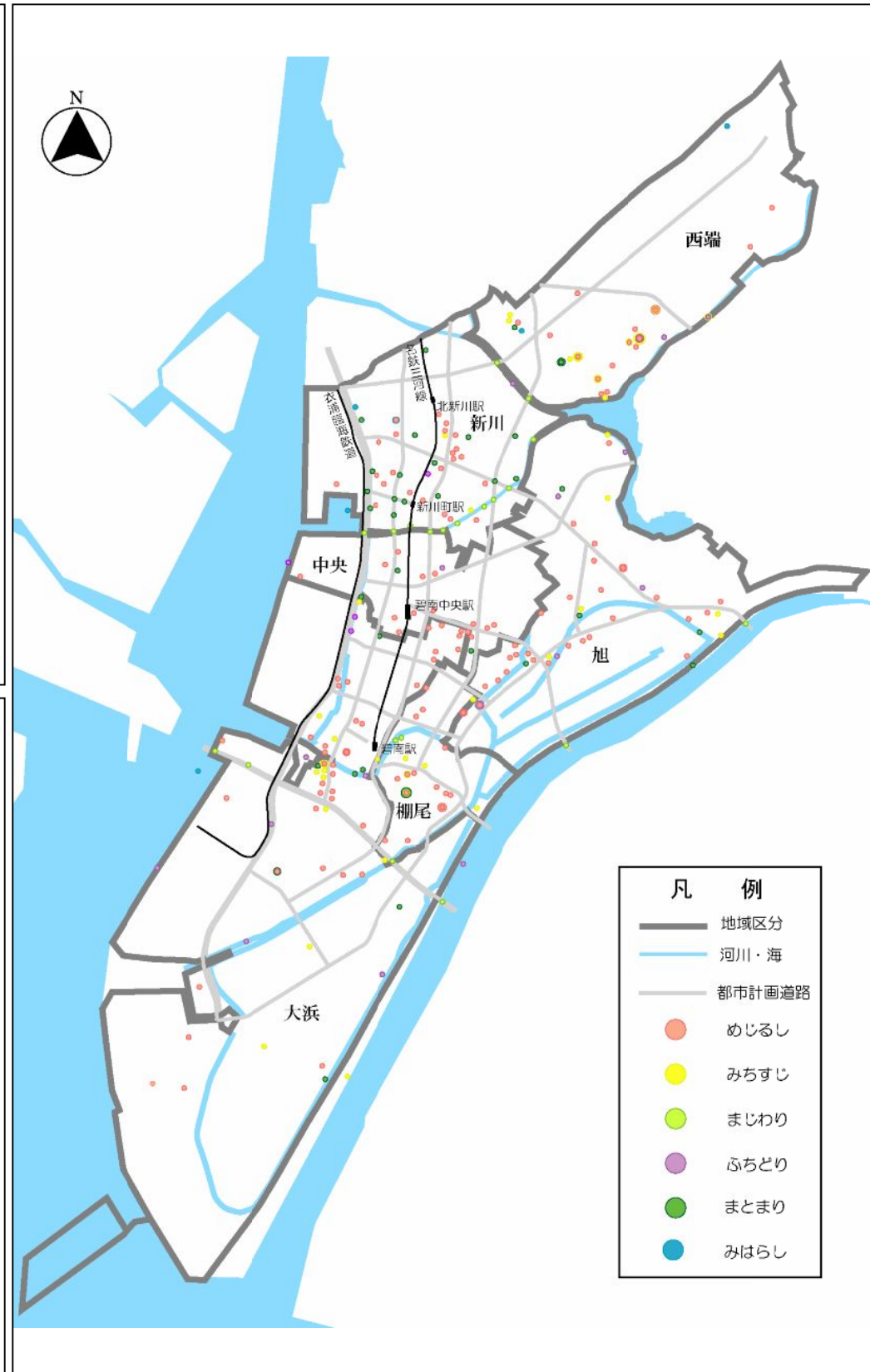
■歴史



鎌倉時代にはじまった新仏教により、大浜地区や棚尾地区には清浄院や本伝寺、八柱神社、光輪寺など多くの寺社が建てられた。

江戸時代中期には大浜港などの港を拠点として醸造業や窯業が栄え、強い経済力をもった。

現在も九重みりんなどの味噌・味醂工場や酒屋といった江戸時代以降の建造物だけでなく、衣浦温泉や旧大浜警察署といった近代の歴史的建造物なども残り、“めじるし”となる景色をつくりだしている。また、歴史的建造物を囲い、“ふちどり”や“まとまり”の役割を果たしている黒壁や板壁の連なり、路地や坂道は、本市の特徴となる魅力的な景色を構成する要素となっている。さらに、松江の常夜灯や地蔵、碑といった“めじるし”となる歴史的な景色の資源も多く残っている。



■生活



本市は、名古屋市から 40 km 圏内に位置し、高浜市や西尾市、安城市などが隣接している。本市の用途地域のおよそ 45% は住居系で占められており、中央地区などを中心に落ち着いた住宅街として“まとまり”のある景色を形成している。なかには、黒壁や板壁を基調とし、歴史的建造物との調和がとれた住宅も多々みられるが、一方で、一部に華美な色彩の建築物や屋外広告物が目立つ場所も出てきている。

さらに、堀川沿いの散策コースと辻広場や西端地区の哲学の小径などは、住宅街をつなぐ魅力的な“みちすじ”となっているほか、河川にかかる橋梁は、地区をつなぐ“まじわり”の場となっている。

また、市民の憩いの場となっている臨海公園や海岸部にある須磨海岸緑地、港南緑地などは、周辺に目立った建造物が少なく、“みはらし”を演出する重要な視点場*の役割を担っている。

■産業



温暖な気候と風土に恵まれている本市は、窯業、鋳物、醸造などの伝統産業と近代的な輸送用機器関連産業などがバランス良く存在し、地域の産業景観を創出している。

三河五カ所湊に指定された大浜漁港は、古くから栄え、米・木綿・塩・酒・みりん・かわら等の多くの産物を運んだ。昭和 32 年には、衣浦港が重要港湾の指定を受け、臨海工業地域として発展した。現在では本市の用途地域のおよそ 40% が商業・工業系となっている。

ボードウォークをはじめ、新川港や大浜漁港では、発電所を始めとする様々な工場や船舶などを眺めることができ、“みはらし”を演出する重要な視点場*の役割を担っている。

※視点場：景色を眺める位置のこと。

(2) 景色を構成する要素の整理

本市の景色資源を「景色づくり基本計画報告書（H16～18）」や「心に残る景色を集める活動報告書（H17～21）」、「都市デザイン文化賞（H1～）」、「碧南の町並み（H12～15）」、「保存樹・保存樹林の指定（H20）」、「へきなん市民遺産マップ（H21）」、「文化財指定」、「彫刻のあるまちづくり」、「美しい愛知づくり景観資源・38資源（H19～20）」の過去の様々な取り組みをもとに抽出し、景色を構成する要素別に整理しました。

※中央地区は、心に残るけしきを語らう会実施中のため、一部記載。また、景色資源の名称は、基本的に調査当時の名称、建築物等で整理。

景色を構成する要素		西端地区	新川地区	旭地区	中央地区	棚尾地区	大浜地区
め じ る し	寺社	応仁寺 応仁寺の階段 八劔神社	白山神社 秋葉神社(田尻) 浜尾稻荷社 神明社などの地域の寺社	願随寺 貞照院應春寺 霞浦神社 稻荷神社 伏見屋神社	法城寺 中山神明社 熊野神社	八柱神社 光輪寺 毘沙門	大浜熊野大神社(下の宮) 西方寺の太鼓堂 妻薬師堂のある景色 清浄院 称名寺
	民間施設	ギャランショップ碧南 設計室M. A. D 丸栄陶業(株)本社屋 にしばたクリニック 中庸スプリング(株)第5工場	衣浦温泉の建築物 昔の看板の残る木造建築 愛知県中央信用組合新川支店 山田純嗣事務所及邸宅 (株)平岩鉄工所 明石工場 碧南信用金庫北新川支店 岡島淳一郎 美容室buono 宗教法人日本基督教団碧南教会 料理 寿々来 竹本アパートの建築物 岡本耕輔邸 杉浦勝典邸	愛知県中央信用組合旭支店 田中眼科 めん処 亀郷 日進商会 金原誓一郎 油谷又一郎邸 八重酒造 長崎彰裕邸 とんかつ専門店吉峰 ハタノホーム本社 高橋英彦邸 長田徳雄邸 洋々医館	愛知トヨタ自動車(株)碧南(営) 和食 加美屋 (有)前正工業 エルメート洋菓子店 ライブラリー リカー キンバラ (有)石川種苗店 いくた整形外科 おまめ道楽 Y邸 角谷 カ邸	鉄工所の木造建築 黒壁屋敷 長田眼科の建物 (株)平岩鉄工所本社 愛知県信用組合棚尾支店 さいとう医院 町工場の木造建築 旧独身寮の木造建築	九重みりん時代館 前浜の輪中・川口の三階建て 赤レンガの冷蔵冷凍庫のある港 岡崎信用金庫碧南中央支店 味噌・味醂工場 三州碧城 両口屋 アイシン 辰栄(株)本社 (株)三共工業本社 医療法人清風会岡村産科婦人科 作塚杉浦クリニック 板倉元代邸 磯貝克美邸 鈴木正徳邸 中部電力碧南火力発電所 時計・メガネ スミヤ
	公共施設	西端下区民館 哲学たいけん村無我苑 油が淵花しょうぶ園	芸術文化ホール 浜尾区民館 鶴ヶ崎公民館	老人保健施設 ひまわり 碧南市民病院	碧南市役所	昔の名鉄棚尾駅	臨海体育館 大浜下区コミュニティセンター 碧南海浜水族館 旧大浜警察署 藤井達吉現代美術館
	碑・門等	荒居道の道しるべ 栄願寺「蓮如上人の数珠掛の松」の碑 油ヶ淵の由来が書かれた碑 応仁寺の行事が書かれた碑 屋根瓦 本多公の墓 野外彫刻「晃」	加藤潮光の彫刻 ミステリースポット(烏山鳥居) 松江の常夜灯 瓦やの煙突 「き志にちゅういすべき」の看板 松江の渡しの常夜灯 野外彫刻「樹と少女」 野外彫刻「ロンド」 野外彫刻「碧南」 西山地蔵堂 小学校の裏門 古い煉瓦塀	遍照院のえんま様 西山地蔵、サバ地蔵、思多橋地蔵 上塚橋のケヤキと常夜灯 野外彫刻「スパイラル」 野外彫刻「HEKINAN或る家族の肖像」 野外彫刻「TO THE SKY」	野外彫刻「ジーンズ・夏」 野外彫刻「風景の調和」 野外彫刻「眼の城'86」 中山のおじぞうさん群 平和用水碑	屋根の上の鐘馗 火の見櫓 地場産業が生む土管 弥生の井戸 祠(ほこら) 地蔵(区分けの根拠) 歌碑、句碑 棚尾小学校の校門 野外彫刻「とのさまバツタ」 野外彫刻「わらべの詩」 棚尾と三河鉄道軌道跡地 棚尾の常夜灯 昔の道案内	お地藏さん 権現崎の灯台 野外彫刻「夏引」 野外彫刻「碧と風の輪」 野外彫刻「道標・鳩」 野外彫刻「ヘルシーゲート」 野外彫刻「風の車」 野外彫刻「渚・小さい波」 野外彫刻「鉄・鉄」 野外彫刻「風景」 野外彫刻「SEA(海)」 野外彫刻「大地のものたち」 野外彫刻「Play Sculpture for Children of HEKINAN」 野外彫刻「進む形」 蜷川のポート 大浜中区の山車 海德寺さんの大浜大仏と仁王様 旧火力電力所の煙突

景色を構成する要素		西端地区	新川地区	旭地区	中央地区	棚尾地区	大浜地区
めじるし	その他の樹木	クロガネモチ(吹上町1丁目)	クス(鶴見町1丁目) イチヨウ(浅間町4丁目)	広籐園のフジ クス(旭町4丁目) シイ(二本木町2丁目)		モチ(志貴町4丁目)	黒壁の住宅街のカイツカイブキ カイツカイブキ(錦町1丁目)
	公園			尾城公園 広籐園			
	祭り		山車や威勢の良いかけ声の祭りの風景 鶴ヶ崎囃子・三番曳		碧南のはやし「チャラボコ」		大浜中区囃子・三番曳
みちすじ	小道、路地	散歩したくなる小道 哲学の小径 生垣の路地 住宅地の路地 青竹の香りが漂う小径 キョウチクトウの咲く小径 白い蔵がのぞく小径 寒緋桜の咲く小径	路地 煙突のある小径 ぼんやり灯る小径 神社へと続く小径 新川沿いの遊歩道	貞照院付近の路地 土塀のある路地 土塀のある小道 三面大黒点のある小径 大きなイチヨウのある小径 お地蔵様のいる小径	木をよけて造られた塀のある小径 旧大浜警察署のある通り 碧南市中山町地藏通り 観音様の並ぶ小径 新川沿いの遊歩道	名鉄三河線と住宅地の間の緑や小道 安専寺周辺の路地 乳母道 石垣の続く小径 蔵、家屋、塀へと続く小径 レンガを使った建物のある小径	本伝寺付近の路地 清浄院横の路地 清浄院裏から妻薬師に抜ける路地 寺とみりん蔵の路地 大浜地区の小径 大浜の路地 暮らしを感じさせる小径 白壁のある小径 みそ樽がのぞく倉庫がある通り 2つ並んだ倉庫のある小径 稲荷社のある小径 松の木が並ぶ小径 あさがおの咲く通り 大きな蔵のある小径 錦町の黒板塀のある小径
	地形が表れる道	荒居道の坂を見下ろす 八劔神社参道の坂道 無我苑の石積みのみち 二又の道 康順寺本堂が正面に見える道		尾城公園の北側の坂 應春寺裏の坂道 天満社のとおり、階段 池鋤蓮成寺の坂道 油が淵に面する崖付近の坂道 神有天満社付近の坂道		棚尾カーブ 旧集落の起伏のある道	
	緑のつらなり	応仁寺前の緑のトンネル 応仁寺の緑のつらなり 荒居道のトンネル 宮下住宅から見える緑のつらなり 沢渡橋の緑のつらなり 無我苑の周辺の竹林 長田川周辺の緑のベルト 竹林 八劔神社の森 ホテルの里	碧南市芸術ホール前の樺並木	貞照院沿いの並木 緑のトンネル 矢作川の桜並木 矢作川の桜堤み	碧緑地の遊歩道	長田眼科沿いの美しい生垣の道 小径沿いの美しい生垣	前浜堤の松並木 川口町の生垣のある道 堤の松並木 旧堤防跡の松並木 臨海公園のメタセコイアの道 老松群
	大きな通り			矢作川の堤防通り	市役所前通り 図書館前通り	矢作川の堤防通り	蓮如街道 矢作川の堤防通り
まじわり	橋梁	明治橋 港新川橋 一文字橋	新川橋 水門橋 鼈橋 新曳舟橋 権江橋 浜尾橋 明治橋 一文字橋 港新川橋 堀片橋 新川に架かる名鉄三河線のレンガの鉄橋 高さの低い陸橋	中畑橋 上塚橋		堀川の子種橋とその付近の桜並木 矢作川大橋 八柱神社太鼓橋	矢作川大橋 衣浦トンネル 前浜橋 ボードウォーク

景色を構成する要素		西端地区	新川地区	旭地区	中央地区	棚尾地区	大浜地区
ふちどり	河川、用水路	荒居道周辺の小川 長田川 高浜川	羽久手川(と堀尾医院、桜) 新川 高浜川 桜が舞う水路	東中学の南の道沿いの水路 矢作川 山北から眺める矢作川	平和用水 新川橋脚からのみはらし	堀川 連合用水 矢作川	矢作川 蜷川
	海、湖			油が淵に沿った斜面林帯	海の記憶 旧新須磨海岸		新須磨海岸 玉津浦海岸 大浜漁港 玉津浦海水浴場の共同シャワー 昔の海岸線の石垣
	しきり	宮下住宅付近の切り通し 栄願寺付近の切り通し 栄願寺を囲む板壁	古い煉瓦塀	八重酒造の土塀 八重酒造水路沿いの家並み 鷺塚小学校周辺の赤禿			
まとまり	寺社内のまとまった緑	西端八剱神社樹林 西端里地樹林 白山社樹林	新川神社樹林 西松江稲荷社樹林 浅間社樹林 東山秋葉社 斎宮社樹林 御鋤社樹林 山神社樹林 住吉神社 東松江神明社樹林	神有天満社樹林 鷺林天満神社樹林 霞浦神社樹林 二本木荒子神明社樹林 厳島社	神明社樹林 熊野神社樹林 天王津島社 伏見稲荷神社樹木	八柱神社樹林	川口神社樹林 大浜熊野神社樹林 音羽山稲荷神社樹林 浜寺稲荷神社樹林 前浜稲荷社
	農業	田園風景					前浜町のにんじん畑とビニールハウス
	家並み	新しい住まい 古い家並み(囲みの家) 栄願寺の漆喰と美しい緑 荒居町の板塀の街並み 西端の里地		八重酒造東水路沿いの家並み		連続する黒壁と石垣 安専寺とその周辺の家々 板堀や板壁の町並み 八柱神社周辺の家並み	堀川周辺の風景
	商店街		辻商店街 碧南銀座 本町通り商店街 キネマ通り商店街 上銀座商店街 永楽街商店街			棚尾の商店街	
	産業					塩田跡の空地 住宅となじむ昔の工場 みそ樽のあるブルーの建築群	
みはらし	海		新川港 衣浦温泉近くの沖見平からみえる海や夕日の風景 明石公園の観覧車からのみはらし 新川橋脚からのみはらし				ボードウォークからみえる衣浦港
	緑	大久手付近の圃場 荒居町の集落を囲む緑の風景					

4. 市民の景色に対する意識

(1) 市民アンケート調査 (H16)

■概要

調査の目的：「景色づくり基本計画」策定の基礎資料として、碧南市の景観を良くしていくための方向性を検討するために、市民が普段感じていることや景色に対する意識を把握する。

調査の概要：碧南市に居住する20歳以上の男女を対象に、無作為抽出で2,000人
：回収数は780票、回収率は39.0%

調査の内容：回答者の属性
：碧南市の景色について
：良好な景色づくりのための方策について

■結果の概要

アンケート調査結果を設問ごとに整理しました。

設問	結果
景観に対する満足度 (15項目)	満足⇒都市の風格・にぎわい、野生動物の豊かさ、水辺空間 不満⇒公共の緑の豊かさ、歴史・文化性
景観に対する以前と比較した評価 (15項目)	向上⇒野生動物の豊かさ、空気のきれいさ、静けさ・のどかさ 低下⇒公共の緑の豊かさ、沿道環境の美しさ、歴史・文化性、歩行空間
個性について	個性を感じてない⇒半数以上 個性的資源⇒公園・緑地、歴史的景観、港、自然
景観を損ねる要因	①河川や水路の汚れ ②空缶やごみが捨てられていること
好きな市街地景観	①図書館前のケヤキ並木 ②市役所前通り
碧南らしいと思う自然、歴史、産業、文化的景観	①油ヶ淵 ②イルミネーション、大浜、毘沙門、歴史、中部電力周辺
好ましくない景観、改善が必要な景観	①油ヶ淵の水の汚れ ②大浜の町並み整備、マンモスプールの跡地利用
景観形成に重要な施策	①親水空間の整備、歩行者空間の整備 ②市街地整備、緑化推進 ③公園・広場整備、歴史的遺産や風土を守る
景観づくりで最も重要な取り組み	①水辺をいかした景観づくり ②市街地の街並み整備や魅力的な景観づくり
規制の必要性	必要+どちらかといえば必要が7割程度
具体的な規制の内容	①看板・屋外広告物の規制 ②緑化を義務付ける規制、無秩序な宅地化に対する規制

(2) 市政アンケート調査 (H19)

市政アンケートは毎年実施されていますが、ここでは平成 19 年度に実施した結果を次のとおり、整理しました。

■概要

調査の目的：今後の市政推進に向けて、市民の市行政の各分野に関する意向を把握するとともに、まちづくりに関する意向を把握する。

調査の概要：碧南市に居住する 20 歳以上の男女、約 1,500 人（1,525 人）を対象
：回収数は 1,035 票、回収率は 67.8%

調査の内容：回答者の属性
：市政の各分野に対する意向
：都市計画マスタープランに関する意向

■結果の概要

設問：まちづくりで重点を置くべき項目

まちのにぎわい	24%
狭い道路や密集市街地の改善	23%
生活環境の保全	15%
景観・景色の保全	10%
他の地域にない独自性	9%
街づくりボランティアや法人等育成	5%
幹線道路の整備	5%
駐車場の整備	5%
その他	2%
無回答	3%

設問：今後も残すべき「景観」や「景色」はあると思うか

思う	66%
思わない	9%
わからない	24%
無回答	1%

設問：「景観」や「景色」を考える機会への参加意思

する	14%
しない	30%
わからない	55%
無回答	1%

設問：今後も残すべき「景観」や「景色」の内容

昔ながらの建物や神社仏閣	45%
細い路地	3%
古い街並み	8%
田園風景	8%
港、川、橋などの水のある風景	21%
花などが咲く公園等	9%
その他	1%
無回答	5%

設問：景観の向上のため、まちづくりに必要なもの

景観の向上のための建築物などの規制	20%
道路、公共施設などの景観に配慮した施設整備	43%
景観に対する意識高揚のための機会の創設	8%
ボランティア等による歴史、風土の伝承	7%
特になし	17%
その他	3%
無回答	2%

5. 現状と課題の整理

良好な景色づくりに向けて、現状のまとめを踏まえ、碧南市における景色づくりを取り巻く現状と課題を整理する。

